

第 2 期日高町創生総合戦略各事業実績

○基本目標と数値目標及び主要施策KPIの達成状況

＜基本目標1＞まちの強みを雇用の場づくりにつなげる

数値目標	基準値	目標値(R7年度)
ししゃも漁獲量	4.9t(R2)	20.0t
新規雇用者数	10人(H27～R2)	20人(R3～R7)

①第1次産業の振興

●農業後継者対策支援事業

【概要】農業後継者の結婚機会拡大に繋がる婚活イベント等の事業を実施し、農業者の経営基盤強化や農業従事者の増加を図る。

【実績】

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (H27～R2)	実績数値 (R3)	目標数値 (R7)	目標値の 修正	会議結果
婚活イベントによる 婚姻数	累計 3 件	0 件	累計 3 件	不要	承認

・近年、イベント等の実施により成婚に至ったケースは少ないが、地元農業青年に対しては結婚意欲の喚起に繋がっており、町のPRにも寄与している。課題としては、若者世代がイベント参加よりもマッチングアプリ等の利用を好む傾向があり、事業のあり方や実施方法については引き続き検討が必要である。

●新規就農促進対策事業

【概要】新たに就農しようとする意欲ある方に対し、新規就農後の営農に係る費用に対して補助金を交付し経営の安定化を図る。

【実績】

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (H27～R2)	実績数値 (R3)	目標数値 (R7)	目標値の 修正	会議結果
年間新規就農者数	累計 16 人	累計 0 人	累計 5 人	不要	承認

・補助金交付により就農後の安定的な農業経営が図られ、農業者の定着化や農業経営体の増大につながっている。

●漁業資源増殖事業

【概要】ひだか漁業協同組合が行うししゃも稚魚の放流事業に対し、経費の一部を補助することで、

漁獲量の増加につなげる。

【実績】

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (R2)	実績数値 (R3)	目標数値 (R7)	目標値の 修正	会議結果
ししゃも漁獲量	4.9t/年	0.2t/年	20t/年	不要	承認

・令和 3 年度における漁獲量の大幅な減少については、地球温暖化による海水温上昇や北海道太平洋沿岸で発生した赤潮被害の影響によるものと考えられる。今後の漁獲量回復に向けて国の協力による資源調査等が実施されているが、自然任せの傾向があり先行きは不透明である。

●森林整備推進事業

【概要】 町内に所在する民有林の森林整備に係る費用に対して補助金を交付し、適切な森林整備や森林更新を図り、森林の持つ多面的な機能の維持発展に寄与する。

【実績】

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (R2)	実績数値 (R3)	目標数値 (R7)	目標値の 修正	会議結果
日高町森林整備 推進事業	76 件/年	105 件/年	100 件/年	不要	承認

・補助金交付により、森林整備の事業量増大が図られ、林業の活性化や就業機会の確保・雇用機会の拡大に繋がっている。

②特産品の推奨と販路拡大

●日高町地場産品推奨品認定事業

【概要】 町内で生産される優れた産品を日高町推奨品として認証し、全国に向けて広く発信する。

【実績】

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (R2)	実績数値 (R3)	目標数値 (R7)	目標値の 修正	会議結果
推奨品認定数	累計 20 品目	累計 24 品目	累計 30 品目	不要	承認

●地場産品推奨品などを活用した特産品開発・販路開拓事業

【概要】 地場産品・推奨品などを活用した新たな特産品開発を推進するとともに、販路開拓を目指す。

【実績】

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (R2)	実績数値 (R3)	目標数値 (R7)	目標値の 修正	会議結果
開発商品数	0 品目	0 品目	累計 5 品目	不要	承認

③観光産業振興

●ホッカイドウ競馬売上増進対策事業

【概要】 全国でのファン層拡大に向け、開幕に併せた各種 PR 事業を実施する。また、門別競馬場を核とした観光ルートの開発と各種観光施設との連携事業を実施する。併せて、近隣自治体との広域観光事業を検討・実施する。

【実績】

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (R1)	実績数値 (R3)	目標数値 (R7)	目標値の 修正	会議結果
門別競馬場 来場者数	59,545 人/年	17,781 人/年	70,000 人/年	不要	承認

・新型コロナウイルス感染症の影響により、開催日数 82 日間のうち、27 日間において無観客開催・発売休止となっていた。

・ホッカイドウ競馬の PR については、(一社)北海道軽種馬振興公社と事業について協力体制を築き、連携を図ってきた。今後は門別競馬場を核とした観光ルートの開発と各種観光施設との連携事業、広域観光事業への参入を計画することが必要である。

●自然を活かした観光事業振興事業

【概要】 日高町の特性である自然を活かしたアクティビティ等の情報発信により、町の魅力を伝え観光客誘致につなげる。

【実績】 令和 3 年度においては、日高町の特性である自然を活かしたアクティビティの PR について、日高町観光まちづくり協会、民間事業者とともに展開した。今後については、観光客のニーズを把握することにより、情報発信の方法の選定を的確におこなう。

●広域交流活性化事業(鷓川・沙流川 WAKUWAKU 協議会)

【概要】 日高町・平取町・むかわ町 3 町により広域観光圏を形成し、地域資源を活かしながら観光による地域の活性化を図る。

【実績】 広域観光事業の見直しにより、3 町が負担し実施してきた各種観光振興事業を令和 3 年度中に停止した。今後は改めて広域観光の実施方法等について 3 町で議論する。

●観光まちづくり協会事業への支援

【概要】 観光振興事業及び特産品開発等について日高町からすべての事業を委託する。

【実績】 令和 3 年度においては、町内事業者等に事業内容の説明を行い、加入を促した。さらに加入者を増やし、町内が一体となった取り組みが必要である。引き続き事業内容の周知につとめ、協会への加入促進に努める。

④若者の雇用機会の拡大

●北海道富川高校、日高高校支援対策条例に基づく財政支援事業

【概要】 町内の企業に就職した場合に、個人及びその企業に祝金を贈呈する。

【実績】

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (H27～R2)	実績数値 (R3)	目標数値 (R7)	目標値の 修正	会議結果
地元企業就職生徒数	累計 19 人	累計 3 人	累計 50 人	不要	承認

・今後はさらに地元企業に制度の情報を発信し、地元高等学校を卒業する者の雇用の活性化につなげる。

⑤企業誘致と事業の創造支援

●企業振興促進条例に基づく企業誘致事業・農業法人設立促進事業

【概要】 農業法人の設立を促進するため、生産設備等の新設に係る費用への助成金や新規雇用者に対する助成金を交付する。このことにより、農業法人の経営の安定化を図り、地域農業の活性化と農業者人口の増加に寄与する。

【実績】

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (H27～R2)	実績数値 (R3)	目標数値 (R7)	目標値の 修正	会議結果
新規雇用者数	累計 10 人	累計 3 人	累計 20 人	不要	承認

・令和 3 年度は、1 件の農業法人が設立され、3 名の新規雇用があった。今後、新規参入する農業法人が増加した際の財源確保が課題となる。

●頑張る商工業地域活性化応援事業(仮称)

【概要】 商工業を営む中小企業等に、創業等に係る事業の経費や人材の育成及び確保といった支援をおこなう。

【実績】 令和 5 年度以降実施計画策定予定

<基本目標2>

海があり山を抱くまちで、子どもを産み・育てたいひとを増やす

数値目標	基準値	目標値(R7年度)
出生者数	67 人(R2)	73 人

①子育て支援の充実

●医療費助成事業

【概要】 北海道医療費助成事業について、日高町単独にて医療費助成対象の拡充(中学生までの通院・入院及び高校生入院を自己負担なしで助成)及び制度を維持する。

【実績】 令和 3 年度 10,961 件 23,642 千円(内町単独:8,730 件 16,068 千円)
(令和 2 年度 10,300 件 23,442 千円 内町単独:8,730 件 16,068 千円)

●エンゼル祝金支給事業

【概要】 新生児の出産を祝福し、祝い金を支給し、次世代を担う子どもの健全な育成を促進する。

【実績】

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (R2)	実績数値 (R3)	目標数値 (R7)	目標値の 修正	会議結果
出生者数	67 人／年	53 人／年	73 人／年	不要	承認

●妊婦訪問

【概要】 全妊婦を対象に保健師が訪問し、妊娠経過の確認や不安などの相談に対応し安心して出産・育児ができるよう支援する。

【実績】

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (R2)	実績数値 (R3)	目標数値 (R7)	目標値の 修正	会議結果
妊婦訪問実施率	93.10%	92.30%	維持	不要	承認

・コロナウイルス感染症予防のため、自宅への訪問を希望しない方や対面での支援を希望しない方がいるため、妊婦訪問実施率には家庭訪問以外の方法で支援した実績も加えている。妊婦の受け入れは良好で、妊娠期から地区担当保健師が対応することで、担当保健師の定着につながっている。就労している妊婦も多いため訪問を希望しない方もいるが、産後の新生児訪問で支援している。

●乳児健康診査

【概要】 生後 2～12 カ月児を対象として、身体計測、問診、診察、保健指導等を実施する。

【実績】

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (R2)	実績数値 (R3)	目標数値 (R7)	目標値の 修正	会議結果
乳児健康診査受診率	92.30%	83.60%	維持	不要	承認

・コロナウイルス感染防止対策として保健師による問診と医師の診察を別日で実施していることにより、健診受診率の数値は低下しているが、未受診者の多くが問診には来所しているため母子の状況を確認することができている。

●日高地区認定こども園の開設

【概要】 「認定こども園」を開設、「放課後児童クラブ」を併設し子育てをトータルサポートする。

【実績】 開設に向け検討中

●給食費無償化事業

【概要】 学校給食費に要する経費を軽減することにより、各家庭の経済的負担を減らし安心して子育てができる環境づくりを支援する

【実績】 令和3年度においては、日高小学校(児童総数:41名) 富川小学校(児童総数:274名) 門別小学校(児童総数:152名) 厚賀小学校(児童総数:54名) 日高中学校(生徒総数:24名) 富川中学校(生徒総数:161名) 門別中学校(生徒総数:69名) 厚賀中学校(生徒総数:31名) を対象に実施した。

②教育環境の充実

●日高町学校施設長寿命化計画の実施

【概要】 日高町学校施設長寿命化計画に基づき、計画的な改修・改築を行う。

【実績】 令和3年度においては、「日高町門別小学校・中学校改築基本構想」を策定した。今後、改築事業を実施していく。その他の学校施設については、長寿命化改修等の検討を行うこととしている。

●全国学力・学習状況調査と標準学力検査の実施

【概要】 全国学力・学習状況調査と標準学力検査を実施し、結果を基に改善策を立て学力向上につなげる。

<p>重要業績評価指標 (KPI)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査は、全教科の平均正答率をR1より5ポイント上回る。 ・CRT ※(小学校)は全実施教科で全国平均正答率の差を5ポイント以内とする。 ・CRT (中学校)は全実施教科で全国平均正答率を上回る。 <p>(R1) 全国学力・学習状況調査平均正答率(全国との差)</p> <p>小学校国語 62.0%(-1.8) 算数 62.0%(-4.6)</p> <p>中学校国語 69.0%(-3.8) 数学 52.0%(-7.8)</p> <p>(R2) CRT(全国を100とした場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校は全国との差が5ポイント以内の教科数は20教科中5教科 ・中学校は全国平均以上の教科数は10教科中5教科 <p>※CRT・・・標準化された学力検査。</p> <p style="padding-left: 20px;">小学校は国語、社会、算数、理科の4教科、全学年を対象とする。(R2では新型コロナウイルス感染症の関係により2～6年生を対象とした。)中学校は国語、社会、数学、理科、英語の5教科、1・2年生を対象とする。</p>
---------------------------	---

【実績】 『全国学力・学習状況調査(R3)』は、小学校では国語:58.0%(-4ポイント) 算数:68.0%

(+6 ポイント)で、算数は評価指標を上回った。中学校では国語:59.0%(-10 ポイント) 数学:51.0%(-1 ポイント)で、2教科とも評価指標を下回った。〔()の数字は、R1 平均正答率との差〕

『CRT(R3)』は、小学校では、3 年生国語(96%) 5 年生国語(98%) 5 年生算数(95%) 6 年生算数(95%)は全国比が5ポイント以内となったが、それ以外は評価指標を下回った。中学校では、2 年生は国語(101%) 社会(102%) 数学(108%) 理科(105%) 英語(112%) と全実施教科で評価指標を上回ったが、1年生は全実施教科で評価指標を下回った。今後はさらに授業改善を深め、特に下位児童の学力を高めていく必要がある。

【修正】全国学力・学習状況調査の平均正答率は、問題の難易度によって年度毎に変わるため、実績に対して正しく評価されない場合がある。そのため、「全国学力・学習状況調査は、全教科の平均正答率を R1 より 5 ポイント上回る」という目標数値を「全国学力・学習状況調査は、全教科全国平均以上とする」に修正する。

●ICT 機器整備・更新事業

【概要】個別最適な学びを構築し、自ら課題を見つけ自力解決する能力を育み、プログラミング教育を充実させ、論理的思考力を培うことにつなげる。

【実績】令和 3 年度においては、タブレット端末の修理等の対応を実施した。今後については、タブレット端末の更新及び学校 ICT 機器の整備及び更新の検討を行うこととしている。

●タブレット端末用学習ソフトの導入

【概要】学習ソフト導入により学習意欲の向上につなげる。

【実績】令和 3 年度においては、各社で無償提供しているアプリ等により対応した。今後については、無償アプリや文部科学省 CBT システム(MEXCBT)を利用し、学習ソフト導入を検討する。

●コミュニティ・スクールの推進

【概要】子どもの姿を地域と共有して小中一貫教育を推進する。

【実績】令和 3 年度においては、CS 通信「つなぐ」を 5 回発行し、地域住民のコミュニティ・スクール理解の啓発に努めた。新型コロナウイルス感染症の影響により、学校運営協議会会議の多くが書面会議であったため、具体的な取組を設定することが困難であった。今後熟議をとおして、中学校卒業時の「子どもの姿」を共有し、小学校と中学校で具体的な取組を進める必要がある。

●特別支援教育支援員配置事業

【概要】要支援児童・生徒に対し日常生活上の介助、学習活動上の支援等を行うとともに、要支援児童生徒が在籍する学校及び学級の運営を円滑にするために特別支援教育支援員を派遣する。

【実績】令和 3 年度においては、小学校 18 人、中学校 1 人を配置し、困難性をかかえた児童生徒の支援をおこなったが、一人一人の教育的ニーズが多種多様であり、十分とはいえない

い面があった。また、近年増加傾向にある外国籍児童・生徒(複数の国籍)に対しても、困難性を抱える児童生徒と同様に支援が重要となる。

<基本目標3>

このまちに誇りを持ってアクティブに住み続けたいと思える生活を支える

数値目標	基準値	目標値(R7年度)
転入者数	575人(R2)	630人
観光入込客数	416,400人(R1)	500,000人

①住みよい環境づくり

●地域循環型バス運行事業(仮称)

【概要】車を持たない学生や高齢者などにとって日常生活に欠かすことのできない交通手段の維持・確保を図る。

【実績】令和5年度以降実施予定

●防災ガイドマップ・ハザードマップ更新事業

【概要】災害などの発生時に地域住民が安全且つ迅速な避難行動を起こすためのツールとして、最新の防災情報を地域住民に提供することにより町内の防災力向上を図る。

【実績】防災ガイドマップ 1万部印刷(令和3年度)

・令和3年7月北海道公表の津波浸水想定区域について、既存の「日高町防災ガイドマップ」に反映・刷新させることを主たる目的とした。必要となる防災情報の収集・整理を行った上で、印刷データ(英語版含む)の作成及び配布用マップの印刷を行い全戸配布した。地域住民に対し、新たな津波浸水想定区域について迅速に周知することが出来た。

●高度無線環境整備推進事業

【概要】町内全域への光ファイバ網の整備をおこなう。

【実績】令和3年度3月時点 整備中(令和4年6月完成)

②交流・人口の創出・拡大

●ふるさと納税の活用

【概要】ふるさと納税制度を活用し、まちの魅力や特産品を全国にPRする。また、町内の生産品を他町で加工・商品化した返礼品を設定するなど、広域的なつながりをつくる。

【実績】

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (R2)	実績数値 (R3)	目標数値 (R7)	目標値の 修正	会議結果
ふるさと納税 件数	5,432件/年	5,871件/年	7,000件/年	不要	承認
金額	100,809千円	106,530千円	120,000千円		

・日高町の場合、寄附件数の増加及び金額の増額は、返礼品として準備可能な件数に比例するものであり、現状の商品構成では件数の増加が見込めないことから、返礼品となる新たな商品の設定が必要である。

●町ホームページや観光情報サイトの充実

【概要】 町のホームページに掲載されている観光情報について見直し、求められる情報の発信に努める。

【実績】 町ホームページのうち、観光情報のページの精査をおこなったが、サイト構造により限界があることを感じている。日高町観光まちづくり協会に業務を委託し、町のホームページから切り離したうえで観光情報の専用ページを作成し管理する。

③若者が集うまちづくり

●日高町産業学習事業

【概要】 日高高校と連携し、地域資源等を活用したカリキュラムの実施により、幅広い分野で活躍できる人材の育成を目指す。

※産業学習の単位を高校の学校外単位として認定することで、夜間定時制高校を3年間で卒業することが可能。

【実績】

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (R2)	実績数値 (R3)	目標数値 (R7)	目標値の 修正	会議結果
在生徒数	31人/年	26人/年	60人/年	不要	承認

・年度により入講生徒数の増減があることは否めず、令和3年度の実績値は26人(R3.5.1 現在)であった。(学年別の内訳:1年生8人、2年生12人、3年生6人) 入講生確保に向けた対策として、令和3年度より新たにYouTubeによる紹介動画を産業学習ホームページにて公開することにより、見学に来ることができない方でも寮や授業内容等を動画で確認することが可能となった。毎年二桁の入講生確保に向け、今後もインターネット等を活用した効果的なPR方策に取り組んでいく。

●スポーツ合宿等に対応した施設整備

【概要】 宿泊研修等に対応し、学校や学生団体に高い人気のある社会教育施設を整備し、若者世代の交流人口の増加につなげる。

【実績】 令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響によりスポーツ合宿等の中止が多かったため、施設利用が減少した。今後は感染症対策を徹底しながら、利用促進に繋げていきたい。

④福祉の充実

●介護予防・生活支援事業

(1)ニコニコ教室(日高地区)・モリモリ運動教室(門別地区)

【概要】 高齢者が健康でいきいきした生活を送れることを目指す。健康運動指導士等の指導により筋力トレーニングやストレッチ、有酸素運動・簡単な器具を用いた運動等を行う運動機能の改善プログラム、管理栄養士等が栄養改善のための食べ方や食事づくりなど指導及び情報提供する栄養改善プログラム、歯科衛生士等が歯磨きや義歯の手入れ方法や呼吸法、咀嚼機能の訓練等の指導及び情報提供を行う口腔機能向上プログラムを実施する。

【実績】

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (R2)	実績数値 (R3)	目標数値 (R7)	目標値の 修正	会議結果
ニコニコ教室 参加者数	453 人/年	311 人/年	450 人/年	不要	—

・令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症予防対策等により実施できない日があったが、その際は看護師により体調確認を週1回実施し、体操等も促した。体力測定を実施し、低下している機能を健康運動指導士に確認頂きながら、向上するためのメニューを示し、家庭でも取り組むよう促している。

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (R2)	実績数値 (R3)	目標数値 (R7)	目標値の 修正	会議結果
モリモリ運動教室 参加者数	237 人/年	119 人/年	230 人/年	不要	承認

・令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響による一時的な中断もあり、計22日間の開催で延べ119人の参加があった。実施前後に体力測定を行い、評価ができた全員に身体機能の維持向上が見られた。参加者からは「日常的な運動習慣が身についた」、「筋力がつき体が軽くなった」などの声があり、運動の効果を感じられた。参加者の中から自主的に小さな地域でサロンをつくり活動するなど広がりを見せているが、年々参加者が減少しているため、開催場所の工夫や内容の充実に努める。

(2)サクサク脳トレ教室

【概要】 くもん式学習療法教材による学習療法(読み書き・計算・すうじ盤)、運動療法、音楽療法等を組み合わせ、学習サポーターを中心として脳機能維持・向上を図る認知機能改善プログラムを実施する。また、管理栄養士等が栄養改善のための食べ方や食事づくりなど指導及び情報提供する栄養改善プログラム、歯科衛生士等が歯磨きや義歯の手入れ方法や呼吸法、咀嚼機能の訓練等の指導及び情報提供を行う口腔機能向上プログラムを実施する。

【実績】

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (R2)	実績数値 (R3)	目標数値 (R7)	目標値の 修正	会議結果
サクサク脳トレ教室 参加者数	130 人／年	154 人／年	200 人／年	不要	—

・令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により一時的な中断もあり、計 21 日間の開催で延べ 154 人の参加があった。実施前後に MMSE (認知症スクリーニング検査)、FAB (前頭葉機能検査) を行い、評価ができた全員に認知機能の維持向上が見られた。参加者からは週 1 回の教室と毎日の学習により認知機能だけでなく人との交流や社会性につながる効果を実感された。学習サポーターの確保が必須であるが、十分な人数の確保が難しい状況であり、今後も確保に努めていく。

(3)見守りネットワーク

【概要】 地域が一体となって身近な地域の人々との交流や関係団体、関係機関等の声かけや訪問などにより、高齢者及び障害者が住み慣れた地域で安心して生活することができるよう、地域からの孤立を防止し、異変の早期発見により必要な援助を行う。協力事業所と推進協力員が日常生活や通常業務の中で、生活に支障を及ぼす異変に気づいた場合、地域包括支援センター等に情報が入り、それにより必要な対応を行う。

【実績】

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (R2)	実績数値 (R3)	目標数値 (R7)	目標値の 修正	会議結果
推進協力員数	38 人／年	41 人／年	50 人／年	不要	—
協力事業所数	34 件／年	35 件／年	45 件／年		

・令和 3 年度においては、28 名の見守り登録申込者に対し安否確認、協力事業所に近況確認と事業協力の周知、推進協力員を対象とした研修会を実施した。事業の周知不足を実感しているため、今後も引き続き民生委員、町内事業所、町内会単位等で事業周知普及活動を行う必要がある。

(4)富川いきいき学校

【概要】 民間企業「ワイズ・パーク富川(富川グロリアホーム)」に業務を委託している。①「ふまねつと運動」による転倒予防事業、②理学療法士・保健師を講師とする介護予防教室、③高齢者や介護者である家族に対する相談支援活動、④介護予防普及事業(体操等を指導できる人材の育成、自宅用体操 DVD の作成・配布)を実施している。

【実績】 令和 3 年度においては、1回あたりの平均参加者数が、①:7~8 人 ②:14~15 人 ③:5~6 人 となっている。

●認知症施策普及啓発事業

【概要】 認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする「認知症サポーター」を養成し、認知症高齢者等にやさしい地域づくりに取り組むことを目的に、地域住民や職域団体、学校等で、住民講座・ミニ学習会として認知症サポーター養成講座を実施する。

【実績】

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (R2)	実績数値 (R3)	目標数値 (R7)	目標値の 修正	会議結果
認知症サポーター 養成講座受講者数	31 人／年	26 人／年	31 人／年	不要	承認

・令和 3 年度においては、団体企業等からの開催依頼はなく、一般を対象に 3 回、日高高校産業学習生を対象に 1 回の計 4 回開催した。ボランティア団体などについては、新型コロナウイルス感染症の影響による活動自粛の期間もあり、開催には至らなかった。これまでの累計養成者数は、1,246 名となり町民の 1 割以上が受講しているが、次年度に向けて、周知の方法を広報のほかチラシを作成し、各窓口などへ配布することとする。

⑤移住・定住施策の推進

●移住生活体験事業

【概要】 移住窓口の機能を充実させ多様な移住生活体験者の増加と、空き家情報のデータ化による移住定住促進を目指す。なお、近年のニーズに則し、季節移住・二地域移住・シーズンスティの受入についても積極的に行う。

【実績】

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (R2)	実績数値 (R3)	目標数値 (R7)	目標値の 修正	会議結果
転入者数	575 人／年	0 人／年	630 人／年	不要	承認

・令和 7 年度までに移住者を累計 3 世帯受け入れることと 60 歳未満の利用者を 50%以上として目標を設定しているが、令和 2、3 年度はコロナ禍により移住生活体験事業中止の期間ができ、利用自体が激減した。しかしながら、日高地域活性化協議会との連携・調整により移住生活体験事業利用者への地域資源案内や交流事業によって、地域の魅力や地域性の理解を深めてもらうことができた。空き家情報のデータ化については町広報等により情報収集を行ったが、有益な情報が集まっていないため引き続き効果的な情報収集に努める。